

原爆の体験を、

後世に語り継ぎませんか？



私たち原爆被害者は、今の国際紛争をみるにつけ、あの人類史上類のない悲惨な出来事を、このまま風化させてしまうことはできないのです。

被爆78年を過ぎた今多くの方が、広島・長崎で起きたことを、被爆された方々の体験談を通して知りたがっています。そして被爆後の人生をどう生き抜いてきたかも、聞きたがっています。

福岡市原爆被害者の会では今、20人余りの証言者が、学校や一般の方々の集いに出かけ、被爆体験を語り継いでいますが、被爆者は高齢のため語り継ぐ人が年々減少しています。

被爆者の体験は、本人にしか語れない出来事で、忘れ去られてしまっただけではいけない貴重なものなのです。外の誰にも語る事が出来ない体験ですから、事実をありのまま語っていただくだけで、聞く人の心に響くのです。



- ✓ 被爆された方に限らず、当時幼年期で記憶がない方
- ✓ 被爆されたご家族の方
- ✓ 被爆体験のない方

被爆の実相を風化させてはいけないと思う皆さん、
どうぞ被爆体験を後世に語り継ぐ活動に参加してください。



体験談を聞く方々の真剣なまなざしに出会うとき、またその後に寄せられた感想文を読んだとき、語り継ぐことができた充実感とやり甲斐を感じることができます。

あの悲惨な体験をされた皆さん、そして被爆の実相を学んだ皆さん、広島・長崎の悲劇を2度と繰り返すことがないように、貴重な被爆体験を後世に語り継ぎましょう。

- 被爆証言に興味を持たれた方は、お気軽にご相談ください。🌸



ご相談窓口「福岡市原爆被害者の会」
事務局 092-711-0425



ホームページ: www7b.biglobe.ne.jp/~hibaku/

